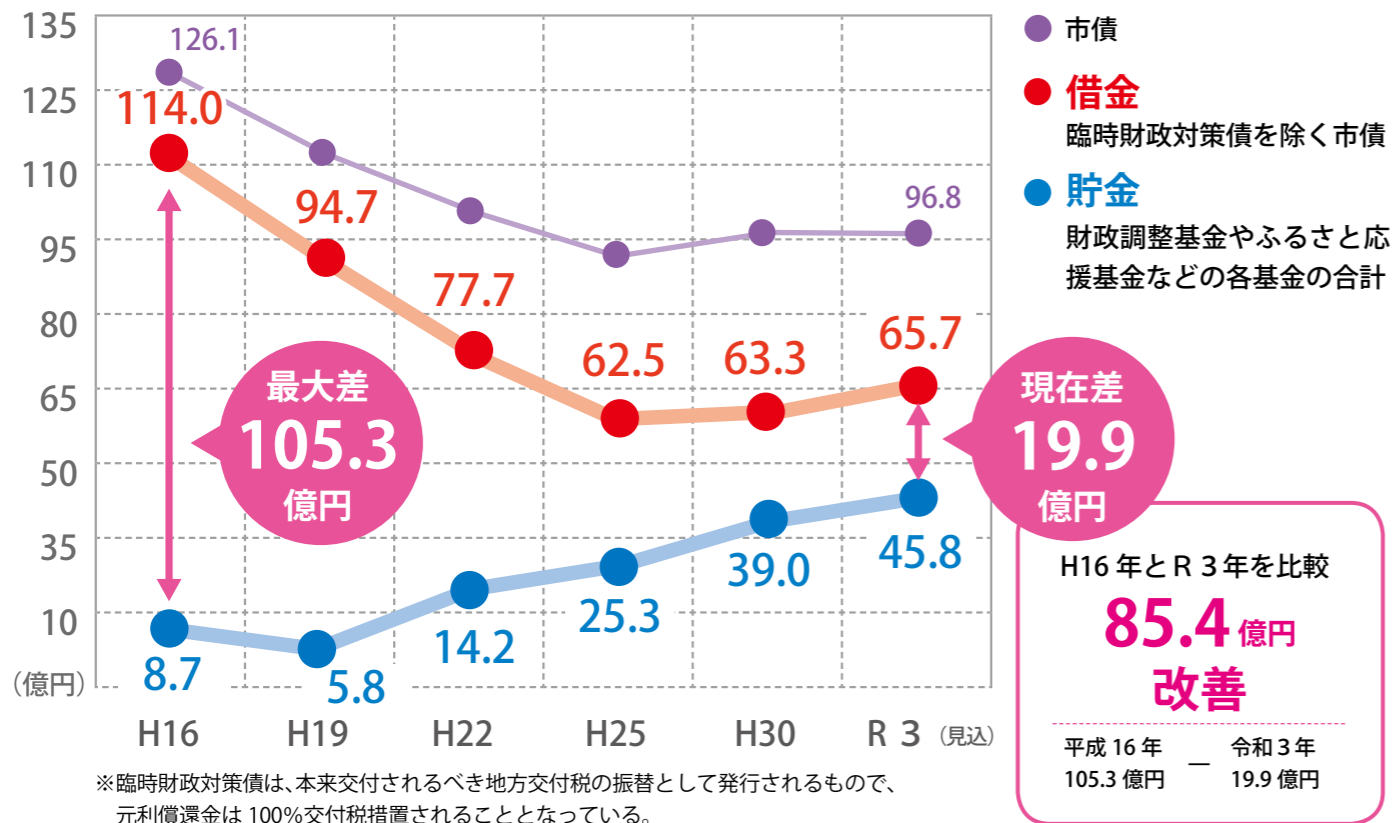


市の財政状況、貯金と借金のこれまで

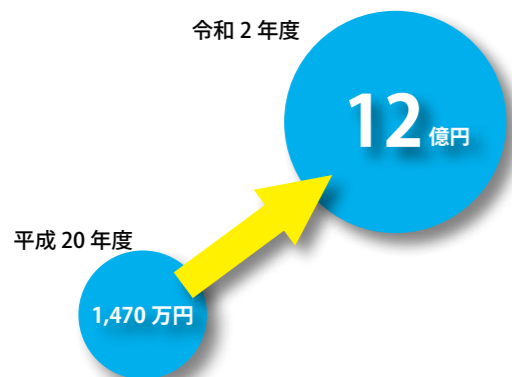


どうして改善できているの？

貯金が増えた、借金が減った主な理由

ふるさと納税

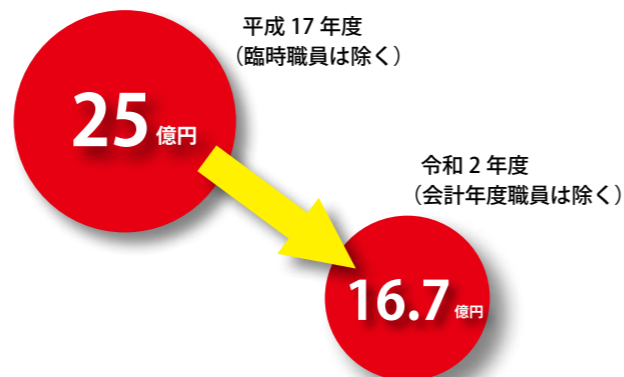
平成20年度より事業を開始したふるさと納税では、平成20年度の1,470万円から、令和2年度は約12億1,000万円と大幅に寄附額を伸ばし、市の様々な事業の財源として活用されています。



※その他、垂水市有施設整備基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定等も貯金が増えた要因となっています。

人件費削減

平成17年度より、新行政改革大綱に基づく新たな定員適正化計画が策定され、平成17年度当初285名おりました職員数は、現在235名まで削減し、人件費は16.7億円余りまで削減となっています。



※その他、財政改革プログラムによる事務事業の見直し等により、公債費についても14億円から10億円余りまで削減となっています。

ざっくり解説

予算編成のポイントと財政状況

一般会計予算総額

115 億 2,200 万円 **前年度比 5.7% 増**

Point 1

子育て支援、教育に力を 7,445 万 8 千円 **関連予算 前年比 24.4% 増**

妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援、GIGA スクール関連事業を拡充、新型コロナウイルス感染症への対応などで負担が増加している保育士の支援など

Point 2

市民の安心安全に力を 7 つの新規事業を創設

市民の健康維持・健康長寿のための取組、防災対策や市道や農道などの道路管理、高齢者の医療支援や介護支援、水道や住宅など生活基盤の充実を図る

Point 3

地元産業発展に力を 3 つの新規事業を創設

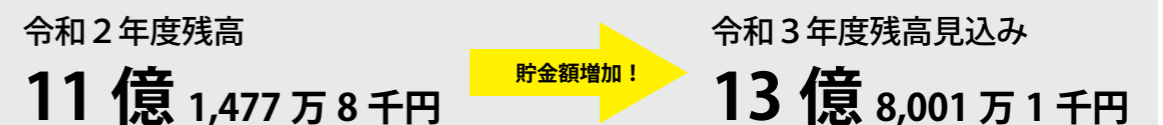
アフターコロナを見据え、商工業、農林水産業、畜産への各事業を推進し、垂水市内の消費、市外・県外・国外への流通を発展させることで、稼ぐ力の向上を図る

Point 4

貯金を崩さず各事業を実行 (=財政調整基金の取り崩しなし)

家計で例えると、いざという時の為の貯金を取り崩すことなく事業を実施

いざという時の為の貯金残高 (=財政調整基金残高)



Point 5

道路工事や災害復旧に要する費用を 25.6% 増

地域からの声を反映し、道路工事費や災害復旧費を増額

道路工事などへの事業費 (=普通建設事業費、災害復旧事業費)

